

平成27年度 第2回 千葉市稲毛区公民館運営審議会議事録

1 日 時 平成28年3月29日(火) 午後2時～4時

2 場 所 小中台公民館(講堂)

3 出席者 (委員14人)

飛鳥井 航一委員長 青柳 典子副委員長

野與 昭委員 周東 ひさ子委員

藤川 勇委員 森脇 清委員

前島 正明委員 土屋 敏夫委員

城 久委員 種池 賀子委員

溜 昭代委員 菊池 まり委員

中嶋 のり子委員 桐原 公夫委員

(事務局11人)

金谷館長、菊地副館長(小中台) 小口館長(黒砂)

倉原館長(轟) 末永館長(稲毛) 鈴木館長(千草台)

小川館長(草野) 山下館長(山王) 山本館長(都賀)

石橋館長(緑ヶ丘) 奥島囑託主事(黒砂)

4 会議次第

(1) 開会

(2) 委員長あいさつ

(3) 小中台公民館長あいさつ

(4) 議題

① 平成27年度公民館利用状況について

② 平成27年度公民館事業報告について

③ 平成28年度公民館事業計画について

④ その他

(5) 閉会

5 議事の概要

(1) 平成27年度公民館利用状況について

稲毛区各公民館の利用状況を事務局から説明した

(2) 平成27年度公民館事業報告について

稲毛区各公民館の事業報告を事務局から説明した

(3) 平成28年度公民館事業計画について

稲毛区各公民館の事業計画を事務局から説明した

(4) その他

特になし

6 会議経過

- 菊地副館長 それでは、これより、平成27年度第2回千葉市稲毛区公民館運営審議会を開会させていただきます。
本審議会は、千葉市情報公開条例第25条に基づき会議を公開し、傍聴を認めております。また、議事録については、公開することとなっておりますのでよろしくお願いいたします。
それでは、次第にしたがいまして、進めさせていただきます。初めに委員長より、ごあいさつをいただきたいと存じます。飛鳥井委員長、よろしくお願いいたします。
- 飛鳥井委員長 あいさつ
- 菊地副館長 続きまして、小中台公民館館長よりごあいさつ申し上げます。
- 金谷館長 あいさつ
- 菊地副館長 このあとの議事について、委員長よろしくお願いいたします。
- 飛鳥井委員長 本日、委員14人のうち14人のご出席がありますので、規定により、会議は成立しております。
次に、議事録署名人の選出ですが、私から指名させていただきます。よろしいでしょうか。
- 委員 「異議なし」と呼ぶ者あり
- 飛鳥井委員長 ありがとうございます。それでは、菊池委員さん、溜委員さんのお二人にお願いいたします。
- 飛鳥井委員長 それでは、「議題1 平成27年度公民館利用状況について」事務局より説明をお願いします。
- 金谷館長 （「議題1 平成27年度公民館利用状況について」説明
公民館の開館日数、利用人数、利用時間別人数及び内訳等
公民館図書室の蔵書冊数、登録者数、貸出冊数、リクエスト
件数等）

飛鳥井委員長 ただ今の事務局の説明について、何かご質問はございませんか。

種池委員 公民館図書室の蔵書数について、緑が丘公民館だけ他の4館より少ないのはなぜですか？

石橋館長 当館は非常に狭い図書室です。その関係で整理させていただいているのでこの様な数字になっています。

種池委員 整理というのは公民館館長の指示のもとで行うのか。また整理はどのように、どの程度で実施するのか。

石橋館長 回覧できない、貸し出しできない本を整理している状況です。

種池委員 わかりました。他館が多いので、緑が丘公民館以外の館は整理していないのですか？

石橋館長 そうではないと思います。

種池委員 わかりました。蔵書数が少ないのに貸し出し冊数が多いですよね。これは効率も良く、良いことですよね。

石橋館長 学校が近くにあり、親子でも借りに来ていただいています。また、リクエストも多いです。ただ自館で本を持たなくても、千葉市内の図書館ネットワークからお借りすることも出来ますので、自館の蔵書冊数を増やさなくても対応が可能な状況です。

種池委員 わかりました。

飛鳥井委員長 ありがとうございました。今の件に関連する事でも、別の件でも結構ですが、他にありますか。

先日、公民館にお邪魔させていただいたのですが、図書室を拝見させて頂いたのですが、今、大河ドラマで真田丸をやっていますが、そのコーナーが公民館入口の入口の所にありまして、興味がある方はいちいち探さなくても関連する本がず

っと置いてあるということで、これは利用しやすく、今話題の事を充実し、コーナーを設けるという事で、利用しやすい方法を考えていると思います。

他にいかがでしょうか？

野與委員

轟公民館さんに伺いたいのですが、主催事業の人数、3,023人というのは、文化祭ですか？

倉原館長

そうです。文化祭です。1,600人を超える参加者があつた。それが例年より多いという事です。

野與委員

報告書に記載がなかったが文化祭は開催されたのですか？

倉原館長

文化祭は主催事業ではなく、クラブ連協の行事として開催していて、公民館へ入館していますので人数は記載しています。

野與委員

わかりました。

飛鳥井委員長

ありがとうございました。他にございますか。

他に質問がないようでしたら、「議題1 平成27年度公民館利用状況について」の質疑に関しては締めさせていただきます。各公民館図書室、いろんな努力をされながら、一層の充実をお願いしたいと思います。それでは、「議題2 平成27年度公民館事業報告について」事務局より説明をお願いします。

各公民館長

(各公民館の事業実施状況等を説明)

飛鳥井委員長

それでは、各公民館から平成27年度事業報告が行われました。これにつきまして、6月の段階にある程度、質問を頂いている訳ですけれども、特に今日は館長さんから絞ってご説明がありました。子どもに関わる事業、子育てに関わる事業、高齢者に関わる事業等、いろんな形で各館努力をされていると思います。この審議会で出た意見を取り入れて、事前に資料を配布されています。何かお気づきの点、ご意見いただければと思います。いかがですか

前島委員

黒砂公民館長にお伺いしたいのですが、千葉大学落語研究会の方に事業を実施していただいたようだが、依頼する際、手

続きは大変なのか？

小口館長 全くその様なことはありません。

前島委員 要望すれば可能か？

小口館長 可能かと思います。

前島委員 あと、実施してもらう内容はこちらの要望を聞いてもらえるか。

小口館長 交渉してからと思います。

前島委員 内容は学生さんが考えているのか？

小口館長 そうです。

前島委員 そうですか。ありがとうございます。

飛鳥井委員長 ありがとうございます。今、前島委員から黒砂公民館の千葉大学落語研究会との関わり方、手続きや内容について質問がありました。資料の備考欄に依頼団体名が記載してありますので、同じ様な事業を実施する際、わかりやすくなりました。他にありますか？

溜委員 各館工夫して事業を実施してらっしゃって感心しているのですが、事業数が多い館と少ない館があるのですがいかがですか？

飛鳥井委員長 事業数が各館で違いがあるという事で、事務局の方で説明をお願いいたします。

金谷館長 主催事業の数については、最低いくつやらなければならない、といった目標は設けていませんが、溜委員のおっしゃった事は事実です。平均化出来るよう、徐々に解消出来るよう努めていければと思います。

飛鳥井委員長 ありがとうございます。溜委員いかがですか？

溜委員 私も館長をやった経験がありますので、例えば、黒砂公民館は子ども向け事業が多く、受講者数も多い。小学校とのタイアップも多いと感心しています。各館長さんも自分の人脈を利用して新しい事業にチャレンジして頂くとありがたいと思います。調理実習は各館の特徴を生かして、ケーキ作り、浅間まんじゅう作り、テレビ局の取材を受けるなど、特色を生かした事業だと思います。もう少し事業数を増やしていただければと、無理を承知でお願いいたしました。

飛鳥井委員長 ありがとうございます。溜委員から事業数を増やせないかとお話があり、金谷館長からもお話がありました。今後そういう事も考えていきたいという事なのでよろしいかと思えます。それでは、他の質問はありますか？

前島委員 ちょっと乱暴な発言かもしれませんが、溜委員さんの話ですが、この資料内容で公民館の事業数が多い、少ないというのは、逆に数量の方でそれなりに見せてしまう背景が出てくるんですよ。必ずしも事業数が少ないから、内容が充実していないという見方は適切ではない。多いからしっかりしているというのはいかがなものか。おっしゃる意味は解ります。本当に今以上、背伸びをして生涯学習をやろうするのはわかるが、単に事業数を増やせばよいとか、この資料上でするのは反対とまでとは言わないが、適切ではないと思う。それよりも一つ一つの事業を数が多かろうが少なかろうが真剣に取り組み充実支えることが大事で、必ずしも事業数にこだわらない方がいいと思います。

飛鳥井委員長 それでは、今、前島委員から事業数ごとの回数の事を頭に入れながら、内容の充実が大事であるという事、内容が充実していかなければ良いものにつなげていないのではないかという意見もありました。何かこの事について他にありますか？

よろしければ十分に検討していただきながら、より良い公民館活動になるよう熟慮検討を含めて、考えて頂ければと思います。それでは、この件に関しては閉めさせていただきます。

他にありますか？

先日、小中台公民館にお邪魔させていただいたのですが、小さな子ども達の声が聞こえてきたんですね。あれ？公民館に子ども達が来ているんだ。子ども達は2歳くらいの子で、館長さんに伺ったところ、小中台公民館の子育て事業を終えた母親の皆さんが、自主的にサークルを作り、お話し会を実施しているという事で、拝見させていただきました。お母さんたちの表情は非常におだやかで、ほのぼのしていて、子ども達を叱る時も優しく言っていて、この様に言えば、子育てに関わるさみしい事件もなくなるのかなと。公民館は今、大人だけではなく、小さな子どもまで利用して親しんでいるんだと。私も気持ちの上でほっとした気持ちになりました。是非、いい形で公民館が地域の方に望まれる事業をお願い出来ればと思います。それでは、他にありますか？

飛鳥井委員長

次年度の事業をいろいろと考えてらっしゃると思います。今年度の反省をもとに、新しい事業への挑戦等、内容を充実させていければと思います。それでは「議題2 平成27年度公民館事業報告」の質疑については、締めさせていただきます。それでは、「議題3 平成28年度公民館事業計画」について、事務局より説明をお願いします。

各公民館長

（「議題3 平成28年度公民館事業計画について」説明各公民館の事業計画等）

飛鳥井委員長

各公民館の計画について説明していただきました。最後には緑が丘公民館では新たに運営委員会による事業展開が始まる様で。事業は公民館と運営委員会、どちらが主体的に活動するのですか？

石橋館長

両方です。共催ですので。

種池委員

その件に関しては私の方から説明いたします。なぜ、この様になったかと申しますと過程がある訳です。

飛鳥井委員長

はい。わかりました。新しい事ですのでご説明いただけますでしょうか。

種池委員

公民館というのは今後どの様な形が一番いいのかと発想があり、福岡県の和白の例を勉強させていただきました。和白の公民館は小学校区に一つずつあり、きめ細かく出来ています。千葉市は中学校区に一つです。私達はこれをいつまでもやっていると、どこかで壁にぶつかるだろう、千葉市は予算もない、知恵もない、何でも地域に投げてる。こういう方向性を長くやっていて私は感じました。この辺で、地域で公民館を応援していったらどうだろう？その時々で、地域に何が求められ、子ども達は何を考え、社会に応じた公民館でなければいけないだろうと。まず私たちは、最初に公民館と一緒に実施する部分と運営委員会が主体となって考えていく部分と二つに分けました。最初、予算はありません。まだ教育委員会は予算をくれませんが、私たちはくれるような形になる様、力を付けていこうと。それまでは、まあ、ご面倒でも現在の公民館の主催事業と共同で実施出来る事を行い、私達は私たちの実施出来ることを実施すると。将来はこの方向性がいいと。館長さんも、地域で人望のある方に就いていただき、運営が出来たらいいなど、将来の夢を持っております。現在、この様な形で実施しておりますが、これがまず一步でございます。これがどの様になるか、運営委員会のメンバーで道作りをしている訳でございます。これで、力を付けて、基礎を作り、将来は公民館が自主的な運営が出来ればいいなど。ハード面は千葉市が行い、ソフト面を地域が運営していく。私はこういう形になっていかなければならないと。また、市の方も、おそらくその辺の所は考えてらっしゃると思えますけど。今、このまま、同じ事をやっているといいのだろうか。まあ、こういう事を私も、こういう事を他の運営委員会のメンバー方たちも考えられまして、今回は館長さんに主催事業を4事業お願いいたしまして、私達に出来る事、公民館でなければ出来ない事、そこら辺を上手くジョイントしながら、お互いに勉強しながら今年は実施してみようということでございます。

飛鳥井委員長

今、種池委員さんからお話して、また、石橋館長さんからの説明で補足して頂いて内容的に良くわかりました。新しく

地域の人たちがより参加しながら、自分たちの事業を公民館と一緒に実施していきたいと。それがいずれどういう形になるか、これから進めながら考えていく事だと思うんですけどね。すでに夢、こういう風でありたいとお話しまでしていただいた訳です。こういう緑が丘公民館のこういう形での事業が進み始めたという事です。この事についても質問があれば結構ですし、これだけ事業の説明がありましたので、その部分のご質問でも結構ですので、皆様のご意見を伺えればと思います。

土屋委員

今、緑が丘公民館の計画の中で新たな構想を知りました。今までこの事が非常に大事なことじゃないかな、とそういう思いがここで浮上したという事で、私は非常に嬉しく思っております。それに携わっている方々のご苦労が多いと思っておりますが、期待したいと思っております、と申すのは、先程、各公民館によって事業数とか、活動内容によって差が出ているというご質問と、それに対するご意見もございました。方向性がやっぱり違うんですね。なぜ違いがあるのか、運営懇談会の位置付けが大きく影響しているのではないかという想いをしております。講座数の多い、少ないと見方をすれば、山王公民館は多く実施しています。実施している背景は運営懇談会の中に各協会の方がみなさん出席してされている訳ですよ。その中で、この講座は何か？と検討している訳ですよ。タイムリーな事業を実施したり、意見を言ったりして、主体的に導入する努力が多い形になり、少ない予算で事業を実施し、講師を手配している訳です。運営懇談会で、地域のニーズを取り入れた活動をすることが大きな決め手になっていると思っております。この計画に手を付けることにより、方向性をよく見極められる気がします。お伺いしますが、このテストというのは4月から具体的にどこまでお考えになっておられるのですか？

石橋館長

運営委員会の方で、提案された議案的な物は、委員長がおりますので、その委員長さんと公民館でお話ししています。それと、使用している利用者団体がございますので、出来るだけ、そういった団体を阻害しない様、日程を選択しながら、実際には運営委員会の方々が歴史散策、マイナンバー、各講師に

お願いする形を選択しております。スマートフォンは公民館にて実施していますが、当面、事業案内等は公民館で作成し、開会の挨拶を運営委員会の方にお任せする。ただし、名簿等、個人情報等、いろんな問題がありますので、情報セキュリティーを厳守するという形で進めていく。その話し合いは月1回行っている状況です。講師料は無料という形にさせていただいて実施していきたいと考えております。

飛鳥井委員長 館長さんからの説明でよろしいですか？

種池委員 この会は審議会ですよね？この会に重きを置かなくてはいけない。審議会は今後、どの様な形でベターなのか？どの様な方向で実施すれば地域の皆様に愛される公民館になるのか？それをここで審議しなければならないと、私は思っております。ですから私は常に考え、館長と考えは一緒です。マイナンバー等は済んでいるんですね。非常に評判が良かった。公民館には行かれない方たちのために、この地域でね、早く言えば、公民館が出前講座が出来るような、これだけきめ細かいアメーバのような末端まで皆様の声が届く様な事が出来たらいいな。いままでは公民館にいらっしやい、公民館で勉強しましょう。そうではなく、公民館から各自治会館等に発信していく、そこの自治会でもどうぞ実施してください。公民館から講師紹介、講師料は無料で依頼しなければ、高齢化社会を乗り切っていけないだろうと。私が実施して評判だったのが、贈与税の講座、マイナンバーの講座です。マイナンバーの講座は二種類ございまして、一つは、千葉市からの出前講座、もう一つは警察署の生活安全課から来ていただく講座です。これから、公民館を全ての対象の方々が来館できる様にしていきたいと。失礼だと思いますが、今までは、学校の先生だった方が館長として赴任されてご指導していただいた。私達もいずれ独り立ちしなければならない。公民館は地域の拠点でなければならない。地域住民の中から、この人なら人望があるという方を、館長として選ぶ、例を挙げますと、福岡県の和白の場合も、看護大学の学長さんでらっしゃった方が館長さんをやってらっしゃった。常に地域住民のそばにいて、脈を測ったり、日頃行き届かない様なことをやってらっしゃった。その事を伺った時、私達もその様になっていかな

ければならないと思いました。もちろんボランティアでやってらっしゃって、6団体が核となり運営しています。このような仕組みはもっと進化していかなければならないと思います。皆様から見ると、夢のような事を発言していると思われるのですが、審議会ですから、皆さんと一緒にいろいろと審議して、前へ一歩でも進めていければいいなと思う訳でございます。

飛鳥井委員長

今、具体的にどの様に取り組んでいけば、また、公民館を利用したい方にも、公民館事業を出前講座にと、いろいろ考えてらっしゃるといふご説明がありました。先程、土屋委員さんからも、非常に良い取り組みではないかという、意見もありました。審議会でありますけど、結論を審議するのではなく、どちらかと言えば、こういう意見が出たという事あたりが大事なことだと思いますので、今の件に絞ってご意見を伺えればと思います。何かありますでしょうか？

城委員

種池委員に賛成しますが、何年後にその様になるのか、その事を市政の方に強く伝達して頂ければと思います。期待します。

飛鳥井委員長

はい。ありがとうございました。それでは、今、同様にご意見をいただきました。他にありますか？

土屋委員

また、意見としてですが、こういう事は情報開示、上部組織、生涯学習振興課の方達には、我々の考えている事は伝わりますよね、議事録から伝わりますよね。そのフォローは皆さんと館長さんを軸として、また、我々はこういう席でやっていかねばならない。方向性はみんな一緒だと思うんです。どの時期から着手だとか、タイミングだとか、理想を理想で終わらせたら意味がないと思う。とにかく、何かで繋げてほしい。利用者にも自治の意識が芽生えないといけない。そうしないと、全体として動いていかないと思う。それに向けて我々も知恵を出し合っていないといけないと思っています。

飛鳥井委員長

ありがとうございました。他に今の件についてありますか。これから第一歩を踏み出して行くという事なので、やってみ

てどうだったとか、出てくると思います。良い方向、良い歩みが出来たか、報告がこの場で行われれば、また、ご意見等がいただけるのではないかと思います。他にありますか？

菊池委員

主催事業の事業計画でしたか、公民館では主催事業以外に社会教育団体の方々が利用されていると思いますが、その所を伺ってもよろしいでしょうか？

登録の時点で社会教育団体かそうではないかわかりますか。公民館としてどの様に関わっているのか。二点細かい話になるのですが、前は窓口予約でしたが、今、インターネット予約になって大変便利になったが、利用する際公民館職員と話をする予約時点で話しをするなど情報共有したり、地域課題を知る機会があったと思うが、そういった所がインターネット予約になって変わったのか？変わってないのか？何か工夫をされているのか？飛鳥井委員長が先程、話してらっしゃったのはたんぽぽという育児サークルの事ですが、補足したい点があります。子育てママのおしゃべりタイムに来た参加者が自分たちの活動として、子育てを考えいく場としてほしいという事で、稲毛区全館で自主的なサークルがある、もしくはあったという状態です。若い母親たちは公民館の使用法、サークルの運営の仕方に不慣れの為、各公民館でサポートしてくれています。他の年齢層に団体にもその様にサポートしているのか？公民館が貸館ではないかと言われているが、実は地域力を養っていく上で重要であると私は確認したいと思います。

飛鳥井委員長

ありがとうございました。事務局の方でありますか？

金谷館長

窓口で予約していたが、インターネット予約になり便利になったと思います。一度登録すると千葉市47公民館全て利用することが出来ますので、全然知らない団体さんが利用することがあります。お断りする事はないですが、利用内容の詳細がわからない上、空室だという事で調理室の予約申し込みがあります。調理を行うのか、会議を行うのか、そういう心配があります。便利になっているが、マイナス面もあります。公民館は社会教育施設ではありますが、あらゆる年齢の方に利用してもらい、将来的には世代交流につながったりする可

能性もありますので、社会教育という事であまり敷居を高くしない方向で、営利、宗教、政治、暴力団の利用はダメという基本的なルールを守りつつ公民館を運営していきたいと思えます。

菊地副館長 補足で、知らないサークルさんへは各館同士で連携し、情報共有、提供し、利用者さんへは確認させていただいています。たんぽぽさんへは、当公民館の職員がクリスマスの時期にサンタの格好をして関わらせていただいています。高齢者向けの活動、えんじょいクラブでは、延べ58名のボランティアの方々が活動支援されています。そういった点で関わっております。

飛鳥井委員長 議題3の質疑については、締めさせていただきます。特にないようなので、これで締めてよろしいでしょうか。ありがとうございました。

菊地副館長 委員の皆様、長時間の慎重なご審議ありがとうございました。以上をもちまして、「平成27年度第2回千葉市稲毛区公民館運営審議会」を終了させていただきます。お疲れ様でございました。

所管課：千葉市教育委員会生涯学習振興課
電 話：小中台公民館 251-6616